

＼ 自転車ツーリングで楽しむ ／

寄り道のススメ



Vol.4

富良野・美瑛編

愛車でのドライブもいいけれど、時にはどこか遠い町で自転車にまたがり、自分のペースでゆっくりと走ってみたい。パノラマに広がる景色を眺め、時に土地の人との会話を楽しみながら、あちらへ寄り道、こちらへ寄り道——、そんな小さな旅を、道内各地をリレーしながらご紹介していく。第4回目は全長277km、「アジアNo.1のサイクリングの聖地」といわれる富良野・美瑛コース。お気に入りの景色や寄り道スポットを見つける旅に、いざ、出発!



企画・文

ばんや りくこ
萬谷 利久子さん

PROFILE

生産者の商品開発、レストランなど「食×農×観光」をサポートする北海道6次産業化プランナー。中小機構北海道本部、農商工連携アドバイザーや北海道大学大学院観光学院デスティネーションマネージャーなども務める。

のどかな田園地帯から、北海道No.1ヒルクライムコースまで多彩なロケーション

サイクリングを楽しめるコースが多彩な富良野・美瑛エリア。美瑛町にはサイクリングロードも整備されています。一番の魅力は「3Dコース」と言われるアップダウンの丘陵地帯。上り坂は「ひ～ひ～」と重いペダルをこぎ、その分のご褒美のように下り坂は爽快です。丘の上を走りながら遠くを眺めると、同じ目線に十勝岳連峰のパノラマが広がり、最高の気分を味わえます。

ビギナーやお子さん連れの方には田園地帯を走る初心者コースがおすすめ。両側に広がる野菜畑や風に揺れる稲穂を眺めながら、のんびりゆっくり走りましょう。私が訪れた晩秋には秋蒔き小麦のグリーンが鮮やかでした。いつカラベンダー色の季節に走ってみたいものです。

牧場で、ソフトクリームを食べながら休憩する本州からのサイクリスト達に出会いました。このエリアの魅力を尋ねると

「道の先に空が見える風景」「緩やかに続く坂道」「くるくる変わる景色」…と、お気に入りの人は人それぞれ。景色の素晴らしさは全国でもトップクラスだと語ります。

マイ自転車を持参する上級サイクリストには、標高1,280mに位置する十勝岳温泉まで山道を駆け上るコースも人気です。達成感と共に温泉で汗を流し、下り坂もエキサイティングに風を切るのでしょう。

富良野・美瑛を自転車で走っていると、木立の中に気になるカフェを時々見かけます。少し疲れたら、カフェでひと休みしましょう。地元食材のランチやスイーツに元気をもらおうと、ペダルをこぐ足もまた力強くなります。

ほんの一週間で畑のパッチワークは色が変わり、いつ来ても新鮮な風景に出合える富良野・美瑛エリア。自転車のアナログ感やスピード感との相性は最高です。

富良野・美瑛サイクリングルートを紹介してくれるのは…



齊藤 慎吾さん

PROFILE

富良野や美瑛の美しい風景と魅力を知り尽くしたサイクリングガイドとして、海外からも多くの自転車愛好家がガイドを依頼。奥様の恵さんと夫婦で生粋のサイクリストとして地域の魅力発信に取り組んでいる。



YAMAICHI ヤマイチ

住所 / 上富良野町西9線北34号
TEL / 0167-45-3157
https://www.facebook.com/kamifurano.yamaichi/
kamifurano.yamaichi/

上富良野町でサイクリングガイドをしている齊藤慎吾さん。サイクリングカフェ「YAMAICHI」のオーナーとして、道内客からインバウンド、初心者から上級者まで、様々な方に合わせたコースを案内する達人です。地元っ子だけに、観光マップには載らないような道も教えてください。

「このエリアの魅力は、一週間ごとに変わる風景の美しさです」と齊藤さん。時間によって変わる陽光が丘の風景を幻想的に見せてくれるため、富良野は夕陽までラベンダー色だと感激したお客様もいたそうです。

海外からのサイクリストも多く、コロナ禍になってからは来たくても来られない方達に向けて、季節の風景や日常生活をSNSで発信しています。インバウンドの中でも特に多かったのは台湾からのサイクリスト達。SNSを見た台湾の愛好家からは「再訪できる日を楽しみに貯金しています」とメールが届くなど、交流が続いています。

齊藤さんおすすめのコースを2つ紹介していただきました。上富良野町「日の出公園」からスタートし、富良野市へ向かう水田地帯を走る平坦な初心者コース。もうひとつは、上富良野町から美瑛町へ向かうアップダウンが多い、中級・上級者コースです。ぜひ参考にしてください。

様々なイベントも企画する齊藤さん。早朝5時出発、20kmの丘の道をゆっくり走ってから朝食ビュッフェを楽しむというツアーは地元でも人気です。来シーズンには、畑の収穫体験や「かみふらのポーク」のBBQなどユニークなサイクリング企画も考案中なので、どうぞお楽しみに!



いつかは走破したい……!

鮮やかな畑のPATCHワークやラベンダーなど、田園・丘陵・山岳地帯と地域ごとの変化に富んだ地形を体感できるサイクリングルートです。

富良野・美瑛 サイクリングルート

「富良野・美瑛サイクリングロード」、「かなやま湖畔コース」、「トマム雲海に出会うコース」の3ルートからなる壮大なコース。

都会では味わえない「田園休暇」を体験できます。

- 高速道路
- 一般国道
- A: 富良野・美瑛サイクリングロード
- B: かなやま湖畔コース
- C: トマム雲海に出会うコース
- JR
- 道の駅



1 halu CAFÉ



アイヌ語で「自然から恵まれた食」を意味するhaluを店名とした癒しのカフェ。十勝岳連峰が一望できる丘の上で、地域の食材を使った美味しく健康的な「食」を提供しています。添加物を使わないジャムやハチミツなどの加工品も販売。開放感と木のぬくもりに包まれた店内では、定期的にコンサートも開催されています。

住所／富良野市西学田2区
TEL／0167-22-1266
営業／10:00～17:00(月・火曜日)

2 北星山ラベンダー園



中富良野町のシンボル「北星山」の中腹にあるラベンダー園。観光リフトで頂上へ向かう途中に見えてきます。4種類のラベンダー、ひまわり、マリーゴールドなど色彩豊かな花々に包まれる憩いの丘で、冬には白銀のゲレンデと変わり、一年を通じて人気のスポットに。頂上からは十勝岳連峰と中富良野らしい田園風景も眺望できます。

住所／中富良野町宮町1番地41号
TEL／0167-44-2133
(中富良野町役場 企画課)

3 十勝岳温泉 湯元 凌雲閣



標高1,280mという、北海道で最も高地にある温泉宿。「雲を凌ぐ宿」という意味で「凌雲閣」と名付けられた宿の全室からは、富良野岳をはじめ、大パノラマを展望できます。宿へと続く道は、サイクリストから北海道No.1ヒルクライムコースとも呼ばれる有名な坂道。日帰り入浴もあるので、ここだけの絶景を湯舟からも満喫してみてください。

住所／上富良野町十勝岳温泉
TEL／0167-39-4111
営業／日帰り入浴8:00～19:00(不定休)
大人800円、小学生400円

おすすめ

1 ロングコース (片道約37km)

白金青い池

十勝岳の防災工事で設置された堰堤にたまった水が、青い色をたえる不思議な池。立ち枯れたカラマツの幻想的な雰囲気と、通称「BIEI BLUE」とも呼ばれる神秘的な青さから、フォトジェニックなスポットとして人気を集めています。見学の際は、観光マナーと撮影ルールを守りましょう。

住所／美瑛町白金
TEL／0166-94-3355 (道の駅びえい「白金ビルケ」)

カフェレストラン・バーチ

「白金青い池」から約5km、美しい白樺の木立に囲まれるように佇むログハウスで、オーナーご夫妻が営むカフェレストラン。注文後に生地から焼くという熱々のパンが蓋になっているビーフシチューや、グリーンカレー、オムライスなど食事メニューのほか、小倉トーストやプリンなどのスイーツも充実しています。窓からの眺めの美しさも、やはり美瑛ならではの。

住所／美瑛町美沢美生
TEL／0166-92-1120
営業／11:00～16:00(水曜休、11月～GW前までは水・木曜休)
※4人以下のグループのみの入店営業となっています

美瑛放牧酪農場

東京ドーム4個分の広大な放牧場で「牛をありのままの姿で飼育する」という方針に基づき、通年放牧によるストレス・フリーな飼育環境を整備する牧場。搾った生乳は、隣接する加工プラントで新鮮なうちにバター、チーズ、ヨーグルトなどの乳製品に加工し販売しています。併設するカフェでは新鮮な生乳を使ったソフトクリームがサイクリストにも人気です。

住所／美瑛町新星平和5235
TEL／0166-68-6777
営業／10:00～17:00(11月～4月は～16:00)(無休)

2 ショートコース (片道約20km)



パノラマロード江花



JR上富良野駅から約4km。周囲より50mほど標高が高い丘の上であり、十勝岳連峰をはじめ農地や牧草地とのコントラストも満喫できるビューポイントです。地元町民が選ぶ「かみふらの八景」にも認定されています。

Café YAMAICHI



国道237号、通称「花人街道」にある深山峠の茶屋。サイクリストの拠点として全国、そして海外からも多くのファンが訪れています。料理を手がける齊藤恵さんも生粋のサイクリストで、実はウクレレの名手としても知られる人物。新鮮な自家栽培の野菜や、地元ブランドの「かみふらのポーク」を使用したメニューがオススメなので、ぜひ立ち寄って欲しい一軒です。



住所 / 上富良野町西9線北34号
TEL / 0167-45-3157
営業 / 10:00~17:00(水曜休)

土の館



北海道開墾に挑んだ人々の農機具や、国内外から採取した土壌モノリス(標本)など、農業における「土と耕す」ことをテーマとした博物館。2004年に北海道遺産、2014年に日本機械学会の機会遺産に認定、2017年には重要化学技術資料(未来技術遺産)に登録された2台の農具も展示する他、併設するトラクタ博物館には、黎明期からのトラクタも多数展示しています。



住所 / 上富良野町西2線北25号
TEL / 0167-45-3055
営業 / 9:00~16:00
※休館日はホームページでご確認ください
料金 / 無料